

學校位置 本校ハ、第一大學區東京第五大區三小區神田和泉町一番地津藩邸舊址ニアリ。
沿革 明治元年六月、舊幕府建設ノ醫學所ヲ以テ醫學校トナシ、前田信輔ヲシテ其事務ヲ理
セシメ、舊幕府ノ醫學教授職坪井爲春、島村鼎、石井信義等ヲ擧テ助教トナシ、以テ生徒ヲ教育
セシム。○中八月舊幕府ノ醫學館ヲ種痘所トナス、尋ニ小石川養生所及白山九段番町駒場等
ノ藥園モ亦醫學校ノ所管トナル。
○按ズルニ、江戸ノ種痘所後ニ西洋醫學所ト稱ス、現今醫科大學ノ濫觴ナリ、事ハ種痘ノ條ニ
詳ニセリ。

〔皇國醫事沿革第六編〕 安政四年紀元二千五百一十七年、幕府松本良順ヲ長崎ニ遣リ、和蘭海軍軍醫ドタ
トルボムベヲ聘シ、就テ醫學ヲ傳習セシム、良順當時ノ俊傑ヲ率キテ之ニ學ブ、佐藤尙中、岩佐純、
司馬凌海、佐々木東洋等、皆ナ其教ヲ受ク、万延元年紀元二千五百二十一年、良順幕府ニ請フテ、彼國ノ病院ノ
制ヲ諮詢シテ、新ニ病院ヲ設ケ、養生所ト名ケ、專ラ治療ノ事ヲ務メ、傍ラ醫學ヲ講習ス、文久元年
紀元二千五百二十二年ニ至リ、更ニ和蘭陸軍軍醫ドクトルボーデインヲ聘シ、名ヲ精得館ト改メ、内校舎ヲ
設ケ、大ニ生徒ヲ集メ、良順外國教師ヲ輔ケテ之ヲ教授ス、科目整然秩序アリ、世始テ醫學ニ理化、
解剖、生理、病理、藥劑、及ビ内科外科等ノ順序階級アルヲ知ルト云フ、是ヲ我邦歐洲ニ倣フテ醫學
科目ヲ定メ、又病院ヲ設立スル噶矢トス、而シテ外國ノ醫學教師ヲ聘スルハ、實ニ之ヲ始トス、明
年幕府精得館ノ學生伊東玄伯玄朴ノ嗣後成ト改ム、林研海洞海ノ男後紀ニ命ジテ、和蘭國ニ留學セシム、之ヲ歐
洲ヘ醫學留學生ヲ派遣スルノ權輿トス、今日醫學ノ隆盛ヲ視ル、實ニ爰ニ淵源スト云フベシ。
〔文部省第一年報〕長崎醫學校。

學校位置 本校ハ、第五大學區長崎縣下第一大區二ノ小區長崎村小島鄉ニ在リ、校內幅員
坪八合